

十綱橋 (2004年 土木学会選奨土木遺産)

飯坂温泉街の中心地に位置し、ブレーストリブアーチが美しい現存する最古級の大正期の鋼アーチ橋。
十綱橋は、明治初頭に寄付金により架橋された木造の吊り橋が半年で落橋し、明治8年に県費で架橋された。これは同43年8月の大出水により落橋し45年4月から修繕された。現、十綱橋は大正3年4月10日から着工され同4年9月に完成したものである。昭和11年には橋面舗装のため9月21日からトベカ式アスファルト舗装工事を施工し同年11月に竣工した。さらに同25年末には橋梁補修として塗装が行われている。その後も漸次補修工事が行われている。現在までに高欄、照明が修景された。



竣工:大正4年9月(着工:大正3年4月10日)
緒元:橋長51.7m、最大支間長40.24m、幅員6.5m
形式:上部工「鋼上路2ヒンジブレーストリブアーチ」
下部工「半重力式(直接基礎)」